



問題発見力



海外研修



学部横断型特別プログラム

# Global Citizenship Program



語学力



問題解決力



進路

グローバル・シティズンシップ・プログラム  
2023年度志望者向け案内

プログラム  
受講料無料

海外研修  
奨学金給付





# GCPの実績

## 世界に羽ばたくGCP生

GCPの一つの特徴は徹底したアカデミック英語の習得です。在学中の交換留学、卒業後の海外大学院出願に必要なTOEFL iBT®やIELTSスコアを達成することが可能なカリキュラムになっています。TOEIC®L&Rスコアで見ると、プログラム修了生の平均点は900点に達しています。また、試験のスコアアップだけでなく、どの学問領域でも役立つ、高度で実践的な英語力を磨ける点もGCP英語プログラムの大きな特徴です。留学先で必要とされる英語の読解力、ディスカッション力、英語でリサーチペーパーを作成し発表する力を日本で留学前に身につけるため、留学先の大学で語学学校に通う必要がなく、到着後すぐに現地の学生と一緒に専門科目を学ぶことが可能です。

また、GCPで培った語学力、リサーチスキル、海外フィールドワークの経験、国際貢献への熱意などを評価され、多くのGCP生が給付型奨学金を獲得しています。約8割のGCP生が長期留学を経験し、世界各地で行われる国際機関のユースフォーラムやハーバード大学の学生会議などにも積極的に参加しています。

在学中に留学をしなかった約2割のGCP生も、就職先で語学力を高く評価され、業務で日常的に英語を使用する部署に配属されたり、勤務先の海外派遣制度等を利用して留学したりなど国際的に活躍しています。また、理系のGCP生の多くは国内外の大学院に進学し、英語で執筆した論文を国際学会で発表するなど、英語をツールとして使いこなしています。

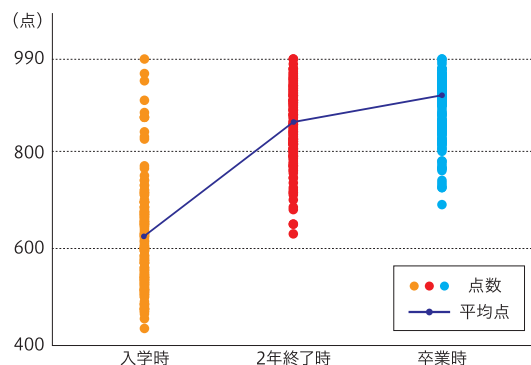
## 夢を形に！ 社会で光る卒業生

GCPの成果は、卒業生の進路の多様性とレベルの高さにも表れています。多くの卒業生が海外・国内の難関大学院進学、業界トップレベルの企業就職、外務省専門職や国家公務員総合職など難関公務員試験、司法試験や公認会計士試験合格などを果たし、GCPで得た力を活かしてそれぞれの進路先で活躍しています。

卒業後、アメリカの大学院で医学博士号を取得し、ハーバード大学のメディカルスクールで勤務後、現在デューク大学医学部で博士研究員として働く卒業生は、GCPで身に付けた英語力、プレゼンテーションスキル、研究者としての心構えが大学院で高く評価され、現在の進路を勝ち取れたとコメントしていました。

またGCPでは、年2回の総会のほか、キャリアワークショップや懇談会など、卒業生との交流の場を豊富に用意し、教職員と卒業生が一体となって、皆さんの夢を形にしていけるサポートをしています。

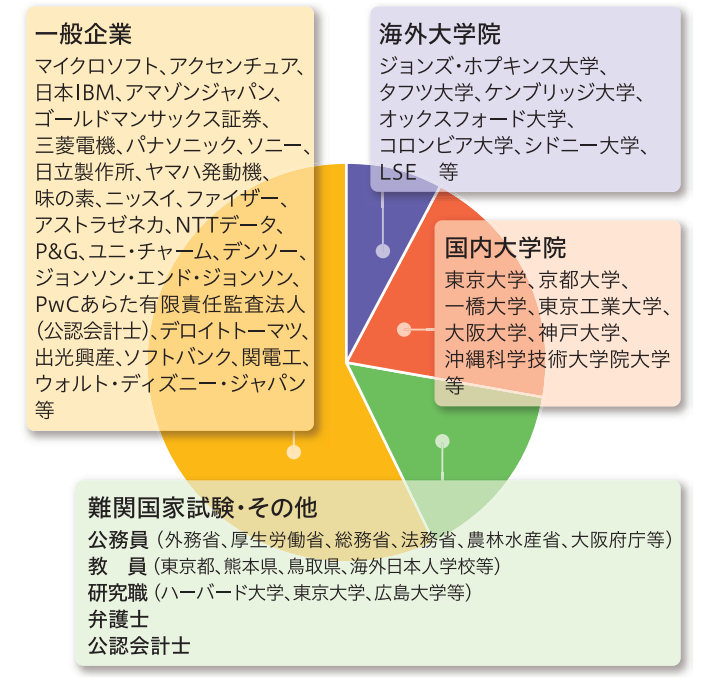
TOEIC® L&Rスコアの推移



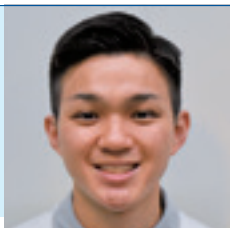
## GCP生の主な長期留学先



GCP生の主な就職先・進学先



## 在学生・卒業生メッセージ



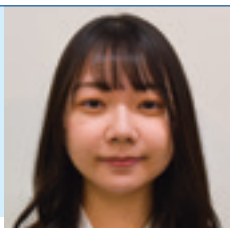
### 海外渡航経験ゼロでTOEIC885点獲得!

すずき しょうた  
鈴木 彰太

経営学部在学 東京都出身 東京都立竹早高等学校卒業

在学生

私はGCPでの2年間で生涯の学びの基礎となる力を得ることができ、自身の成長を実感しました。GCPの学習では、向学心の高い学生と共に高度な英語力、アカデミックスキルや問題解決力などを身に付けられます。これらの実践的な力を習得することで、早期からグローバル人材としての一歩を踏み出す準備が出来ます。先輩方との繋がりや先生方による手厚いサポートもGCPの魅力です。GCPの卒業生は世界を舞台に様々な分野の第一線で活躍されています。そのような先輩方との交流は、日々の学習の刺激となるだけでなく、視野を広げる機会にもなります。また、学生が日々の学習、留学、そして進路などで悩んでいる際に、GCPの先輩方や先生方は親身になって適切なアドバイスをしてくださいます。GCPの2年間はハードで、学部の授業との両立などに悩む時期もありました。しかし、同期、先輩方、そして先生方に支えられ、自分自身を大きく飛躍させることが出来ました。今秋から経営学部の海外交流校に留学します。



### 英語を日本で仕上げて3カ国語を使いこなす!

ちから りょうこ  
力 諒子

文学部在学 北海道出身 創価高等学校卒業

在学生

高校時代、具体的な夢がなかった私は、海外研修等の実践的な学びと徹底的な語学力の強化、様々な学部の学生が集まる点に自身の視野を広げていける可能性を感じ、GCPを志望しました。授業では、幅広い学問を学ぶメンバーと英語で議論を重ねる中、英語力に加え、物事を筋道立てて説明する力が身につきました。また、親身になって相談に乗ってくださる先輩や教授のサポートもあり、モスクワ大学交換留学という進路を開くこともできました。現在は、GCP2年間の学びを通して世界のつながりを肌で感じた経験と、自身の学部専攻であるロシア語を生かし、国家間の友好、世界の平和に貢献できる道を模索しています。学部での学びを、さらに広い世界へ繋げることができるのも、GCPでの学びの特徴であるといえます。夢がなかった私がここまで広い世界に飛び込むことができたのも、GCPという学びの場で切磋琢磨しあえる仲間と出会えたおかげだと強く感じます。



### アメリカで博士号取得!

いしがき げんや  
石垣 原野

工学部(2014年卒業) 兵庫県出身 関西創価高等学校卒業  
アメリカ サンノゼ州立大学 助教授

卒業生

GCPでの学びを通して、自分の考えを日本語でも英語でも、論理的に説明する力が鍛えられました。大学入学時はほとんど話すことができなかった英語も、卒業時には国際的な研究会などで、論文を発表できるまでに伸ばしていただきました。卒業後はテキサス大学ダラス校の大学院に進学し、GCPでの経験をもとに、多くの研究成果を難関学術雑誌で発表することもできました。昨年コンピュータサイエンスの博士号を取得し、現在はサンノゼ州立大学で教員として働いています。

大学教員として仕事をしながら、多様化する社会では、どのような考えも正しく人に伝わらなければ価値が生まれないことを実感しています。GCPで学んだ、書いて伝える力・話して理解し合う力は、研究者・教育者になった今、自分自身の大きな糧となっています。また、GCPでの活動を通して、それぞれの道で挑戦を続ける仲間を得られたことは、なにより大きな財産となっています。受験生のみなさんには、志を同じくする仲間と共に、自分が想像する以上の自分になれるGCPに応募されることを、強くお勧めいたします。

# GCPの学び

## 英語力

GCPコーディネーター  
かんざか いずみ  
**勘坂 泉**



GCPでは独自の集中英語講座で海外大学院留学レベルの英語力と、国内外のグローバル企業や国際機関に就職する際に求められる高度な英語コミュニケーション能力の修得を目指します。単に英語のスコアを伸ばすのではなく、国内外の社会問題や地球規模的な問題を英語で、探究的に学習し、将来どの領域に進んでも役に立つ英語力+思考力を磨きます。

徹底した4技能の特訓に加え、問題発見+解決+発信で総合的に英語を学びますので、英語圏で専門科目を学べるレベルに、日本にいながら到達することが可能です。国際経験豊かな教授陣によるカウンセリングと効率的な授業外学習指導により、さまざまなニーズに対応しています。英語を日本で仕上げ、非英語圏へ留学し、多言語習得を目指すことも可能です。



## プログラムゼミ 世界に羽ばたく力を養う！

プログラムゼミ担当  
い だ じゅんいち  
**井田 旬一**



プログラムゼミは、現代社会が直面するさまざまな課題について、アカデミックに要因を分析し、解決策を提案できる地球市民としての資質を養っていきます。 Semesterごとに独自のゼミが設けられており、2年間で右図の様に4つのゼミを学びます。

特にゼミIVでは、それまでの学びを活かし、グループ毎に選択した地球的課題に対する解決策を提案します。例えば、あるグループは、「インドネシア・ジョグジャカルタの下痢罹患率が高い」という課題に対する解決策として、「現地の小学生を対象にした『リサイクル石鹸を使った手洗い教育プロジェクト』」を提案。実際に実施にまでこぎ着けました。日本・現地のNGOや企業、大学等さまざまなアクターを巻き込んで、8ヶ月にわたった準備は予期せぬトラブルや挫折の連続だったそうです。しかし、現地の小学生の衛生状況が、自分たちが一から作り上げたプロジェクトによって改善していく様子を目の当たりにした時に、「学生なりの方法で諦めずに目の前の地球的課題の解決に貢献する喜び」を強く感じたそうです。

他にも「ザンビア栄養啓発プロジェクト」を立ち上げ、ザンビアを支援する財団と共に、栄養に関する全5回分の授業教材作成と、現地の学校における栄養教育の体制づくりに取り組んだグループもあります。この様にプログラムゼミは、具体的な取り組みを通し、より実践的な問題解決力や提案力を磨く授業となっています。

1年春学期 プログラムゼミI キャリア&リーダーシップ

**リーダーシップ力、ビジョンの形成力を磨く**

チュートリアルと併せて  
自身の最適なキャリア形成と進路を計画

1年秋学期 プログラムゼミII ベーシック・リサーチ

**リサーチ力、プレゼンテーション力を磨く**

1年次2月に行う海外研修のなかで  
フィールド調査を実施

2年春学期 プログラムゼミIII ポリシー・スタディーズ

**問題発見力、「チームで働く力」を磨く**

専門的な視点から  
問題を構造的・総合的に把握し、分析

2年秋学期 プログラムゼミIV グローバル・イシューズ

**問題解決力・提案力を磨く**

2年次12月に公開成果報告会を開催し、  
社会に対して提案





# GCP海外研修

## 海外短期研修

実践的な英語力とアカデミックスキルを駆使して、開発途上国の問題解決に取り組む

GCPでは、1年次終了時に2週間程度の海外短期研修を、旅費・研修費全額支給で実施します。例年、フィリピンのキャピトル大学、デ・ラ・サル大学、アジア開発銀行などを行き先として実施しています。

研修内容と連動した1年次後期のプログラムゼミの授業では、研修先の経済・文化・保健などの社会問題に関する課題テーマをあらかじめ設定し、国内で事前に資料調査や検討を重ねます。その内容を踏まえて、研修では現地指導教員のサポートを受けながら、企業や学校、病院などでフィールド・リサーチを行い、その結果を分析して、現実的視点に立脚した課題解決策をまとめ、研修先大学でその成果をプレゼンテーションします。

これらの活動を通して、高度なリサーチ・スキル、アカデミック・スキルだけでなく、実践的な英語コミュニケーション能力を身に付け、異文化とふれあい、その多様さを尊重する重要性を学ぶことで、地球市民に求められる素養を磨きます。



## 留学・国際会議



なか さくら

仲 桜良

経済学部在学

香川県出身 関西創価高等学校卒業

アメリカ デラウェア大学 留学

留学先での専門分野の学習やインターンシップでは、語学力はもちろん、速い議論の中での質の高いアウトプット、膨大な量の課題や短期間でプロジェクトを仕上げるタイムマネジメント力が求められました。どれもGCPでのたゆみない訓練で鍛えられた力が活きたと感じています。また、GCPでは自分の知っていることが決して全てではなく、物事の背景や意義を想像することの大切さを学びました。そして、留学中に異なる意見や価値観を持つ人に出会った時、乗り越えなければならぬ壁にぶつかった時に、どんな人や状況からも学び取ろうとする、その学びの姿勢が傲慢さを排除し、自身をさらに高めてくれたと感じています。留学を通して、GCPでの学びを実践し、自身をより飛躍的に成長させることができたことを確信しています。



にしやま みつあき

西山 光明

法学部在学

東京都出身 創価高等学校卒業

フランス ISUGA 留学

フランス・ISUGAでの交換留学では、コロナ禍の影響で授業内容が変更になり、急遽ビジネスの授業の履修が必要でした。しかし、GCPで鍛えたリーディング力、プレゼンテーション力、発言力のおかげで、前提知識がない経営やマネジメントの授業にもついていくことができました。留学中は座学だけでなく、地元特産のお酒、ビスケットの生産工場訪問や、ワインやチーズのテイスティングの授業を通してフランスの文化、歴史を肌で感じながら学ぶことができました。ビジネスの授業に加え、フランス語の習得に挑戦し続けた7か月間は、GCPの学び無くしては決して成し得ないものだったと確信しています。「高校卒業まで英語に無知だった自分が留学という選択肢を持てるんだ」と、授業や日々の生活を通して気付かせてくださった全てのGCP関係者の皆様方に感謝の思いでいっぱいです。



世界銀行主催の World Bank Youth Summit に参加するGCP生



ハーバード大学のアジア国際関係プロジェクトに参加するGCP生

# 進路



しおた たかこ  
塩田 貴子

法学部(2020年卒業) 東京都出身 創価高等学校卒業  
オスロ大学大学院 法学部 ノルウェー人権研究所 人権専攻

「世界平和に貢献できる人材になりたい」という熱意を抱いて入学した創価大学。GCPの2年間の学びは、世界の舞台に出るための土台を築いてくれました。フィリピン研修では行政の家庭内暴力への取り組みについて研究し、被害者の女性たちにインタビューを行ったことが原体験となり、女性に対する暴力の撲滅に取り組むことを決意しました。

現在はノルウェーのオスロ大学人権研究所に所属し、将来国際機関で政策提言やアドボカシー活動に携わることを目標に、ジェンダー平等のための法律・政策について研究しています。唯一の日本人学生ですが、GCPで培った英語力とプレゼンテーションスキルのおかげで、教授や世界中から集った同級生と自信をもって議論を交わすことができている。また、論文執筆や調査には論理的思考力が不可欠であり、プログラムゼミでの学びが大いに役立っていると感じます。GCP時代は課題の多さに苦労しましたが、素早く英語文献を読みこなすためのトレーニングであったと感謝しています。

GCPで共に学び切磋琢磨しあった仲間たちは、私の創大生活の宝です。世界のどこにいても、皆世界を良くするために今日も頑張っている、と思うと力が出ます。見えないところで苦しむ女性を一人でも多く救うため、国境を越えて活躍する人権活動家へと成長して参ります。



きよす ゆきえ  
清洲 幸恵

法学部(2022年卒業) 福岡県出身 福岡県立小倉高等学校卒業  
総務省 大臣官房会計課

国際感覚をもちながら地域社会に貢献できる地方公務員になりたいとの思いから、法学部の公共政策・行政コースを専攻しました。GCPでは、専門分野の異なる学生とグループワークを行うなかで、意見の違いを理解し対応する柔軟性や、物事を多角的に捉える視点が鍛えられました。また日々の学習では、結果の出ないなかでも粘り強く取り組む姿勢や、適度に息抜きをしつつ、やる気を維持するバランス力が身につきました。

3年次にはコロナの影響で交換留学が中止になり、1年前倒しで公務員筆記試験の勉強を始めました。一人暮らしで家族・友人と会う機会もなくなり、外出も制限されたため、淡々と試験勉強に取り組む日々ではGCPで養われた精神力が試されました。

受験を続けるなかで、学部での専門分野の学びとGCPで養われた高い英語力、プログラムゼミで国際的な観点から地域課題に向き合った経験から、地方公務員志望から一転、国家公務員として総務省で、地方公共団体の行政運営に制度面から携わりたいと考えるようになりました。入省後は、国・地方双方の視点を持った行政官として成長し、より豊かで活力ある地域社会の実現に貢献していく決意です。またGCPでの英語の学びを活かし、大使館勤務や消防の国際派遣業務等、より広い分野にも携わっていきたくです。



あおやま ゆうじ  
青山 裕二

経済学部(2022年卒業) 大阪府出身 関西創価高等学校卒業  
アストラゼネカ株式会社

私は、「多様性の中で価値創造のできるグローバル人材」に成長したいとの想いから、創価大学に入学し、GCPに入りました。GCPでは、優秀な同期メンバーと学びに学んだ濃い2年間を送らせていただき、論理的思考力やパブリックマインド、チームで高いアウトプットを出す力など、どんなキャリアも叶えられる強靱な基礎体力を培うことができました。しかしながら、GCPで一番得たものは、陰に陽に多くの方々を支えられながら、成長の機会を頂き、可能性を広げてくれることができたという自覚とそれに対する報恩の想いです。それ以来、「全ての人々が、宿命にとらわれず、それぞれの価値を最大限発揮できる社会を築きたい」とのビジョンを掲げ、進路を決定しました。

現在私は、医薬品情報担当者として、医療用医薬品の安全性や副作用についての情報提供等を通して医療を支えています。

今後は、マーケティングやグローバル拠点への転籍、海外大学院でMBA取得など様々なことに挑戦していく予定です。まだまだ創大出身者が少ない医薬品業界でヘルスケアをリードしていけるグローバルリーダーとして創大生のロールモデルになれるよう不断の挑戦をしていく決意です。

# GCPの理念と目的、5大特徴



GCPディレクター  
さ さ き さとし  
佐々木 諭

看護学部教授 博士(医学) 創価大学法学部卒業 新潟大学大学院医歯学総合研究科修了  
10年に亘りアフガニスタンやザンビアで国際協力機構(JICA)や医療NGOの国際協力事業に従事

GCPは、創価大学ミッションステートメントで謳われている、智慧、勇気、慈悲の3つの要件を有した地球市民(Global Citizenship)を育成することをプログラムの理念としています。具体的には、世界を志向し、世界の平和と人々の幸福を願う心(スピリット/Spirit/精神性)を持ち、世界が直面する問題の要因を分析し、解決策を提示する能力スキル(Skill/技術・方法)を身につけ、決して自己の利益にとどまることなく、人々の幸福のために貢献する行動サービス(Service/奉仕・貢献)ができる地球市民の輩出を目指しています。

そのために本プログラムでは、以下の5つの取り組みを通して、世界を舞台に活躍したい皆さんをサポートします。グローバル企業、国際機関、世界トップレベルの大学院、国家公務員などを目指す強い志を持つ学生を全力で応援します。

## ① 学部にも所属したまま参加できる学部横断型特別プログラム

GCPは6学部(経済・経営・法・文・教育・理工学部)の学生を対象に選抜を行います。それぞれの学部にも所属したまま、互いに学びに取り組むことで、広い視野と多様性が育まれることを期待しています。

## ② 徹底した英語教育と奨学金給付(返還不要)による全員参加の海外研修

高いレベルの集中英語講座とあわせ、GCP受講者全員に、海外研修費用として返還不要の奨学金が給付され、全員が海外短期研修に参加します。GCPの海外研修では、研修先の政治・経済・環境・教育に関する講義を英語で受け、現状と課題について理解を深めていきます。

## ③ 社会システムを読み解く力—数理能力をトレーニング

国際社会で活躍するためには、膨大かつ多種多様なデータを効率的に活用し、スピーディーに分析する能力が不可欠です。「社会システム・ソリューションI・II」では、社会の現状と問題を把握し、解決方法の考察と意思決定を行うために必要なデータ分析能力を修得します。

## ④ 独自ゼミでグローバルに活躍する人材を育成

セメスターごとにそれぞれ独自のゼミが設けられ、2年間で段階的に、リーダーシップ力、問題発見力、問題解決力を高めていきます。

## ⑤ 少人数制によるきめ細かい指導と「建学の精神」の深化

教員1人あたり5~10名の少人数体制を組んで、週に一度のチュートリアル授業や学生一人ひとりの学問分野や進路に合わせて、きめ細かい個別相談・指導等を通して、学生生活を全力でサポートしていきます。

# 入学から卒業まで

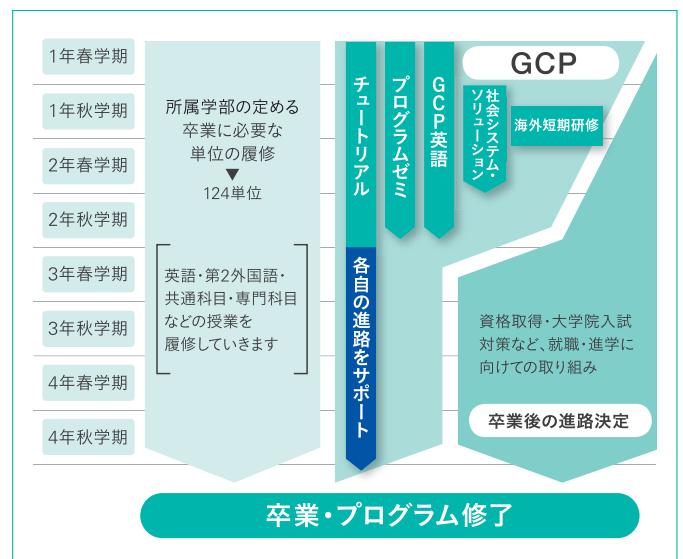
GCPでは、学生の所属する学部でそれぞれ定める卒業に必要な単位を修得しながら、並行して本プログラムの科目を履修します。プログラム修了に必要な単位(32単位)をすべて修得すると、卒業時に所属学部の学士に加えて、GCP修了が認定されます。

※卒業要件(履修科目、単位数)は学部により異なります。

※所属学部の定める卒業要件では、所定の単位の修得のほか、通算GPA(全科目の評定平均)が2.0以上であることが必要です。

※GCP科目は、共通科目の授業として開講されます。したがって、GCPで修得した単位は、各学部で定める卒業要件の「言語科目(英語)」、「共通科目」、または「自由選択科目」の単位として含まれます。

※一部のGCP科目については、GCP以外の所定の科目を修得することにより、GCPの修了に必要な単位として振替を行うことができます。





# GCP選抜要項

変更の可能性がありますので、必ずGCPホームページの募集要項もご確認ください。

GCPの受講には、入試合格後に出席が必要で、また、GCPの選抜試験は入学前に行われます。入学後にエントリーすることはできません。

## 出願・募集について

- **対象学部**：経済・経営・法・文・教育・理工学部(国際教養学部、看護学部は別カリキュラムのため応募できません。)
- **対象入試**：PASCAL入試、公募推薦入試、指定校推薦入試、創価学園推薦入試、大学入学共通テスト利用入試、全学統一入試、一般入試2・3科目方式
- **募集期間**：入試ごとに異なります。以下の「選抜の流れ」ならびにGCP募集要項をご確認ください。
- **募集人員**：約30名(合格者が募集人員に満たない場合でも、追加募集は行いません)
- **受講費用**：無料(英語学習の一環として、TOEFL等の外部試験を自己負担で受験する場合があります)

※出願資格について不明な点がある場合は、事前にGCP事務室にお問い合わせください。

## 選抜の流れ

GCPでは出願者に対して選抜を実施します。選抜は以下の2段階で行います。

- ① **第1次選抜**：エントリーシート、入学試験の成績、入試出願時に提出された調査書に基づき、書類審査を行います。  
入試合格者向けに開設される「入学支援システム」より、エントリーシート等の必要書類をオンラインで所定の期日までにご提出ください。提出締め切り日は入試ごとに異なります。募集要項でご自身の入試の締め切り日をご確認ください。エントリーシートは提出フォームの下書き段階で一時保存できますが、締め切り日までに必ずご提出ください。  
第1次選抜の結果は、入学前に、「入学支援システム」で通知します。第1次選抜合格者には、第2次選抜のスケジュール等も併せて通知します。
- ② **第2次選抜**：3月下旬ごろに小論文試験・面接試験・英語試験を行います。さらに入学前後に全新生生に対して実施されるプレイスメントテスト(基礎学力判定テスト[数学])・TOEIC® L&Rの結果も含めた総合評価により選抜し、受講者を決定し、4月上旬ごろ合否を通知します。

## GCP募集要項

<https://www.soka.ac.jp/gcp/admission/info/>



## Q & A

### ① GCP生はどのような課外活動に取り組んでいますか？

GCP生はクラブ活動や学生自治会、大学行事の実行委員会等に参加することはできませんが、GCPで身につけた英語力や論理的思考力、問題解決力を活かし、学外の国際学生会議、外務省が主催する海外インターンシップ、内閣府主催の国際青年交流事業、国連協会主催ユースフォーラムなどに日本代表として参加しています。

学内においては、ASPIRE創価(国連アカデミックインパクトの学生団体)の中心メンバーとしてSDGs達成を推進するイベントや難民支援映画祭などを企画し運営しています。そのほか、国際寮での留学生のサポートスタッフ、グローバルな就職活動を支援するスタッフ、GCPで培った経験やスキルを活かせる課外活動に、積極的に取り組んでいます。

### ② 選抜試験に向けた準備について

小論文試験では、社会課題などのテーマとそれに関する資料が与えられ、所定の時間内に自分の考えを明確かつ論理的に述べることが求められます。英語試験の中ではライティング試験が課されます。大学入試英語エッセイ問題、英検1級ライティング問題、TOEFLライティングセクションの出題形式を参考にしながら、英語パラグラフの構成を把握しておきましょう。面接試験ではGCPの志望動機、学修計画、これまでの経験と、ある1つの社会課題に関して意見が求められます。GCPの目指す人材像を把握し、自分の学びたい内容、キャリア計画をよく検討するとともに、国内外の諸問題について常に情報を収集し、周囲の人たちとの議論を通して、自分の意見を持つようにしましょう。

発行日：2022年6月8日

グローバル・シティズンシップ・プログラム事務室(総合学習支援オフィス学習支援課内)

ホームページ：<http://sgcp.soka.ac.jp> TEL:042-691-7009 FAX:042-691-6941 メールアドレス：[sgcp@soka.ac.jp](mailto:sgcp@soka.ac.jp)

お問い合わせ時間：月～金曜日 9:00～17:00 / 土曜日 9:00～12:00